

第5回研究科セミナー

日 時:令和7年6月17日(火)15:30~17:00

場 所:情報科学研究棟3棟5階 コラボレーションルーム7

15:30-16:00

「政策プロセスへの研究者のコミットメント

—近年の拠点形成事業におけるプロジェクト評価の動向について—

北陸先端科学技術大学院大学 副学長(社会人教育担当)

先端科学技術研究科 特任教授 永田晃也 氏

16:00-16:15 質疑

16:15-16:45

「網膜視覚生理学から人類知性科学へ — 分野横断と対話の価値」

北陸先端科学技術大学院大学 副学長(総合戦略担当)

先端科学技術研究科 教授 小泉周 氏

16:45-17:00 質疑

講演要旨:

「政策プロセスへの研究者のコミットメント—近年の拠点形成事業におけるプロジェクト評価の動向について—」

これまで科学技術イノベーションを対象とする経済分析、経営戦略論、政策研究など多様な社会科学の領域に研究者として携わってきました。本セミナーでは政策研究の領域での講演者の活動の中から文部科学省科学技術・学術政策局との共同により実施した拠点整備事業の自立性・持続可能性に関する研究をご紹介します。今後の日本における科学技術イノベーション政策の動向について皆さんと共有しておきたいポイントに言及いたします。これより JAIST の更なる発展に向けて取り組まれる教育研究拠点構築の方向を展望してみたいと思います。

「網膜視覚生理学から人類知性科学へ — 分野横断と対話の価値」

医学部を卒業し医師となった後、網膜視覚生理学の専門的な研究に取り組んできました。しかし、ボストン(ハーバード大学)での経験を通じて、広い視野で研究をとらえ、融合的な研究を推進することの重要性を痛感しました。研究を成功に導くためには、専門の沼に陥ることなく、分野を超えて、社会や政策を含む多様なステークホルダーと対話しながら、広い視野を持ってチームビルディングを行うことが不可欠です。PhD とは、新しい知を問い続け、世界の複雑さに挑む哲学を担う者であり、Philosophy を語ることができなければなりません。インパクトの大きな論文や大型科研費獲得においても、こうした広い視野と対話が決定的に必要なと感じています。今回の講演では、自らのこれまでの歩みを振り返りつつ、副学長として、人類知性科学をはじめとする JAIST の新たな方向性を皆さんと共に探り、前進していく思いをお伝えしたいと思います。

お問い合わせ先:教授 上原 隆平 (E-mail: uehara@jaist.ac.jp)